



ふくどみっ子

福富小学校便り

NO.2

2022年4月15日(金)

文責 校長 櫛村 圭子

《校訓 あなたには伸びる力がある 今日の努力がそれを創り育てる さあがんばろう!》

4/11 入学式 31名の1年生が仲間入り!

4月11日(月)に31名の1年生が入学しました。今年も新型コロナウイルス感染予防対策として、1年生児童、保護者、6年生児童、教育委員会、職員が出席しての入学式となりました。

1年生はとても元気ではりきっていました。担任の先生が一人一人呼名をして紹介した時も、みんな大きな声で返事をしていました。すばらしい1年生です。

私は、式辞で「あなたには伸びる力がある」という話をしました。一人一人が生まれた時から「伸びる力」をもっています。これから毎日、勉強したり運動したり、人に優しくしたり、元気に挨拶をしたりすることを積み重ねていけば、その「伸びる力」は1年生が終わる頃には、大きくなっているでしょう。一緒に頑張っていきましょうと伝えました。



【みんなの前でも元気に返事ができました!】



【頼もしい6年生の「お祝いの言葉」】

地域の皆様の見守り ありがとうございます!!

福富地区の民生委員の皆様が、1年生だけの下校時に見守りをしてくださいました。

交通指導員の方々や駐在所の方々、老人会の皆様、保護者の皆様等たくさんの方々に見守りをいただいています。まだまだ1年生は登下校に慣れていませんので、本当にありがとうございます。

子どもたちの安全な登下校のためにいつもありがとうございます。心より感謝申し上げます。



4/18(月)～4/22(金)家庭訪問短時間でおじゃまします！

4月18日(月)から4月23日(金)に家庭訪問をさせていただきます。佐賀県内の新型コロナウイルス感染症の状況がなかなか予断を許さない状況ですので、短時間の面談とさせていただきます。今回の家庭訪問は、まずはよろしくお願ひしますというご挨拶と通学路の確認、お子様についての共通理解を一番の目的としています。お家の中には入らず、玄関先で結構です。担任も感染症対策をとって伺います。(検温・マスク着用・手指の消毒等)短い時間ですが、どうぞよろしくお願ひいたします。

※体調や感染状況等によって、家庭訪問の実施に対して不安があられる場合は、学校に御相談ください。

学校における新型コロナウイルス感染症対応の変更について

新型コロナウイルス感染症対応について、これまでの見地に基づき、県の対応方針が変更となりました。

保健所による「濃厚接触者」の特定や行動制限を含めた積極的疫学調査は、感染リスクが高い同一世帯や重症化リスクの高い方が入院・入所している医療機関・高齢者施設に重点化されるため、学校においては、保健所による積極的疫学調査は行われなくなりました。

◆「濃厚接触者」は保健所が特定します。「濃厚接触者」については、7日間の自宅待機となります。

◆濃厚接触者の可能性がある人を「要待機者」とし、学校が特定します。今回新たに規定されました。

「要待機者」は5日間の自宅待機及び7日目までの健康観察は必要となります。

学校における「要待機者（濃厚接触の可能性のある方）となる範囲【接触状況確認基準】

★要待機者（①～③のいずれかに該当する場合）

①学校生活において、陽性となった児童・生徒と、授業・補習、部活動、休み時間、飲食時、登下校時等で、a～c全項目に該当する児童・生徒

a 1メートル以内の距離

b マスクをしない（鼻出しマスク、あごマス含む）

c 15分以上の接触があった

※感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つば等）に直接接触した可能性がある児生徒等はc時間の長さを問わず該当

②同じ部活動等（生徒会、体育祭応援団等含む）で密接な接触があった生徒（部室等を一緒に利用、身体的接触あり等）

③特別な接触環境にある生徒（寄宿舍・合宿等で陽性となった児童・生徒と同室の者）

学校が「要待機者」を特定する場合、特に上記の「人との距離」「マスクの着用」「15分以上の接触」「飛沫」などがポイントになってきます。そこで、登下校の際も、人との距離が近い場合はマスクの着用をお勧めします。今後、熱中症や息苦しさを防止するためのマスクの着脱や人との距離について学校でも指導していきますが、放課後の習い事や遊びに行く際、登下校等の感染予防については、御家庭でも御留意ください。

誰もが感染の可能性のある状況です。感染等による差別や偏見、いじめが起きることのないように、御家庭でも御指導や御配慮をお願いいたします。